

平成 26 年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の結果に関する報告書

(平成 25 年度施策・実施事業分)

平成 26 年 12 月

宇陀市教育委員会

はじめに

宇陀市教育委員会は、教育行政の充実を図るとともに、市民への説明責任を果たすことを目的として、平成25年度に執行した教育委員会の主な事務事業を宇陀市総合計画に基づく基本計画の項目毎に分類し、目標の達成状況及び進捗状況について宇陀市教育行政点検評価支援員の意見をふまえながら点検・評価を行い、本報告書をまとめました。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律〔抜粋〕（平成20年4月1日施行）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

宇陀市教育委員会

委員長 寺澤 亮一
委員 喜多 俊幸
委員 中尾 哲夫
委員 岡本 憲明
委員 石増 次郎 (教育長)

1 施策・事業点検及び評価の実施概要

宇陀市教育委員会は、「宇陀市総合計画」はもとより、年度ごとの「宇陀市学校教育の指導方針」、「宇陀市生涯学習振興指針」並びに「人権教育についての基本方針」等に基づき、社会環境や財政状況に弾力的に対応した施策・事業を遂行しています。その具体的取組に関して目標達成状況を踏まえた点検・評価を行った。

今回の点検・評価の対象は平成25年度に実施したうちの主な施策・事務事業である。

2 宇陀市教育行政点検評価支援員

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条第2項に規定する教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会自らが点検・評価をした結果について、学識経験者2人に点検評価支援員を委嘱して教育面での効率性・有効性の観点から改善点などについてご意見をいただいた。

施策・事業を見直す上で、点検評価支援員による市民の視点に考慮した指摘を真摯に受け止め、職員の意識改革につなげ、総合的かつ客観的に捉え、新たな進展を目指すものである。

■支援員の氏名（敬称略）

高野 精介 （宇陀市在住 元榛原小学校校長）

砂古 里美 （宇陀市在住 元室生中学校教員）

■点検評価支援員と教育委員会事務局職員による会議開催

平成26年9月24日（水） 午前9時～午後5時

〔主な施策・事務事業の概略説明と質疑応答、点検評価支援員からの総括的な意見〕

3 教育委員会の主な運営・活動状況

教育委員会は、平成25年4月に学校教育の指導方針を「基礎学力を大切に「生きる力」と「夢」を育む教育の実現」、人権教育の推進の基本方針、生涯学習の振興指針を「いつでも 自由に学び その学びを活かし 心豊かに生きる」とし、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に基づき、次に掲げる教育に関する事務を管理し、執行した。

- ・学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。
- ・学校その他の教育機関の用に供する財産の管理に関すること。
- ・教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
- ・生徒・児童の就学並びに入学・転学・退学に関すること。
- ・学校の組織編制、教育課程、学習指導に関すること。
- ・学校施設及び設備の整備に関すること。
- ・校長、教職員の研修及び指導助言に関すること。
- ・校長、教職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。
- ・学校給食に関すること。
- ・家庭教育、青少年教育、成人教育及び公民館の事業その他社会教育、スポーツ、文化活動に関すること。
- ・文化財の保護、活用に関すること。
- ・文化財の調査、研究、記録及び資料作成に関すること。
- ・教育に関する法人に関すること。
- ・教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。
- ・所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。
- ・区域内における教育に関する事務に関すること。

(1) 信頼される学校づくりに向けた取組

◆ **学校教育**

本市の学校教育の目標は、人権を尊重する民主的な社会の形成者として、豊かな人間性と創造性をそなえた幼児・児童・生徒の育成を推進することである。

宇陀市教育委員会では、『基礎学力を大切に「生きる力」と「夢」を育む教育の実現』を進めている。

多様化する複雑な社会の中で、近年、児童・生徒の問題行動の発生件数が全国的に増加する傾向にあるが、教員は専門性の資質を高め、優しさと思いやりを持って、子どもたちに寄り添い、勇気と自信を持った子どもを育て、活気ある、明るく輝く学校づくりに努力している。

具体的な教育実践にあたっては、確かな学力を育む教育活動の推進、豊かな人間性を育む教育活動の推進、健やかな心身を育む教育活動の推進、

幼保一体化による幼児教育の推進を指導の柱として、各校で教育目標を定め、その目標に添った教育活動を行っている。心身共に健康な人間の育成、知徳体のバランスのとれた力をはぐくむ教育の充実が重要である。

次代を担う子どもたちが、これからの社会において必要となる「生きる力」、人間性豊かな総合力を身に付ける取組を日々実践している。

社会情勢が大きく変化する中で、「生きる力」を育むためには、学校だけでなく、家庭や地域などの結びつきが希薄にならないようにして、社会全体で子どもたちの教育に取り組むことが非常に大切である。学校だけでなく、家庭や地域での交流や体験は「生きる力」を培うものである。これからも、学校・家庭・地域が連携を緊密にして、一体となり教育力の向上に努める。

幼稚園・保育所では、発達や学びの視点から、小・中学校教育との円滑な連携を図っている。就学前教育の重要性に鑑み、教育計画・保育指針に則り、健康で明るい子ども、感性豊かな子ども、思いやりのある子どもの育成に保護者、地域のご協力をいただきながら、具体的実践を行っている。

なお、学校、園・所の関係では、例月の校長会、幼稚園長・保育所長会や教育センター事業の研修の場を通して、積極的に議論、意見交換している。

◆ **人権教育**

教育委員会は、これまで人権が尊重される社会や地域を築く人間の育成を目指し、具体的な施策を講じてきた。平成22年4月にこれまでの取組を点検し、「人権教育の推進についての基本方針」を定め、平成25年度においても当該基本方針のもと、学校教育の場で、さらなる教育実践の充実に向けた事業を実施した。

主な重点課題は次のとおりである。

- ①学校・家庭・地域での生活の中で、自分の大切さや他の人の大切さが認められていることを実感できるような環境づくり
- ②いじめや虐待などの人権侵害を発見し、解決する体勢づくり
- ②子どもの基礎学力を充実するための分かりやすい授業づくり
- ③学級活動や学校行事などを通じた人権意識の育成
- ④様々な人権問題の学習を通じた豊かな人権感覚の育成
- ⑤子どもの発達段階に応じた学習テーマを設定し、自律的に考え、行動できる人づくり
- ⑥学校・家庭・地域が一体となった人権尊重の社会づくり

◆ 人事評価

奈良県人事評価制度の規定による自己申告評価制度・勤務状況評価制度に則り、教職員の自己申告シートの提出を受けた。

その資料等に基づき、管理職に対して直接指導助言を行い、校長等管理職が学校職員に指導助言を行った。

教職員が学校組織の構成員であることを認識し、組織の目標を理解し、行動することの自覚を促すとともに、管理職は個々の教職員の能力や適性を客観的に把握し、教育的力量の向上や組織の活性化に向けた人材の育成を図ることを目的とする。

また、宇陀市内の各学校の円滑な経営に寄与するために、適切な人事異動を行った。10年以上の長期勤務者の解消・若手教員の積極的採用などにより、職員構成を偏りのないようにし、お互いが刺激し合い、相互理解と協力関係を築き、学校組織を活性化し、学校全体の教育力を高めるよう努力している。

◆ 学校評価

学校は、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組についての適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図っている。

自己評価だけでなく保護者など学校関係者等による評価を実施するとともに、結果を学校だよりやホームページで公表している。

また、教育委員会が学校評価の結果に応じて学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図っている。

(2) 基本的人権を尊重した生涯学習社会の構築に向けた取組

◆ 生涯学習

変動の激しい社会情勢の中で、社会教育、家庭教育、学校教育を抱合する生涯学習の重要性が増している。

一人ひとりが心豊かな人生を過ごすことができるように、生涯にわたって、学習を継続し、その成果を適切に生かせる社会が求められている。

このような状況の中で、学校教育と社会教育・生涯学習の連携を緊密にするとともに、連続性、継続性を重視して、次の点を重要施策とした。

- ①生涯学習の促進・・・公民館等の地域性を生かした講座の充実
- ②生涯学習情報の充実
- ③社会教育推進体制の充実・・・社会教育委員の活動、公民館活動等の充実と自主グループの育成と支援
- ④家庭教育の支援・充実・・・「家庭はすべての教育の出発点」
- ⑤青少年・成人教育活動の充実・・・地域での支えあい、育てあう活動推進、心にひびく「あいさつ運動」
- ⑥男女共同参画の視点にたった学習の推進
- ⑦伝統文化・芸術活動の充実・・・自分らしく潤いのある生き方
- ⑧歴史や伝統文化にふれる学習機会の提供
- ⑨スポーツ・レクリエーションの充実・・・健康増進、体力維持・向上
- ⑩生涯スポーツの機会や情報の提供

以上の施策目標を達成するため、現状を踏まえながら具体的な課題を設定し、種々の施策・事業を推進してきた。具体的な施策・事業については後に示す「点検・評価シート」で取り上げている。

(3) 教育委員会会議の開催

教育委員会会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第13条及び「宇陀市教育委員会会議規則」に基づき、平成25年度は定例会12回と臨時会を5回、合計17回の会議を開催した。

全国的に教育行政の中核をなす教育委員会制度について議論のあるところであるが、政治的な中立性を確保するとともに、教育の継続性、安定性を維持することが教育委員の責務と捉え、日夜努力している。

会議では、施策に関して真剣に議論を交わし、事務局と連携して施策を推進している。会議は原則公開している。

また、会議終了後に、複雑化する多様な教育課題や、子どもを取り巻く諸問題について意見交換や、議論を交わし、理解を深めている。

◆教育委員会審議案件等の実績

教育委員会会議では「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」及び「宇陀市教育長に対する事務委任規則」の規定に基づき、種々の案件について十分な議論、審議した。

さらに各担当課から所管する事務について詳細な報告や協議を行うことで、教育委員会と事務局が同一の施策の方針のもとで、一層事業が充実、推進されたと考えている。

<平成25年度の審議案件>

- 4月定例教育委員会（4月22日）
 - ・宇陀市就学指導委員会委員の委嘱について
 - ・宇陀市松山伝統的建造物保存地区保存計画の変更について
- 5月定例教育委員会（5月22日）
 - ・宇陀市教育委員会学校事務グループワーキング試行要綱の一部改正について
- 6月定例教育委員会（6月26日）
 - ・宇陀市教育行政点検評価支援員の選任同意について
 - ・宇陀市スポーツ全国大会出場補助金事業要綱の一部改正について
- 7月臨時教育委員会（7月16日）
 - ・審議事項なし、協議事項、報告事項のみ
- 7月定例教育委員会（8月2日）
 - ・室生地域の教育環境・学校再編のあり方について
- 8月定例教育委員会（8月27日）
 - ・宇陀市社会体育施設条例施行規則の一部改正について
- 9月定例教育委員会（9月27日）
 - ・審議事項なし、協議事項、報告事項のみ
- 10月臨時教育委員会（10月7日）
 - ・審議事項なし、協議事項のみ
- 10月定例教育委員会（10月24日）
 - ・宇陀市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
 - ・宇陀市教育委員会の権限に属する事務の補助執行について
- 11月定例教育委員会（11月28日）
 - ・宇陀市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の制定について
 - ・宇陀市スポーツ全国大会出場補助金事業要綱の一部改正について
- 12月臨時教育委員会（12月19日）
 - ・室生地域の小学校再編統合について
- 12月定例教育委員会（12月25日）
 - ・宇陀市アドバイザーリーチーム学校訪問について
 - ・宇陀市就学指導委員会委員の委嘱について
 - ・宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区保存計画の一部改正について
- 1月定例教育委員会（1月29日）
 - ・宇陀市社会教育会議運営に関する規則の一部改正について
 - ・宇陀市生涯学習施設管理運営規則及び宇陀市社会体育施設条例施行規則の

一部改正について

- ・宇陀市生涯学習施設使用料の減免に関する要綱及び宇陀市社会体育施設使用料の減免に関する要綱の一部改正について

■ 2月定例教育委員会（2月26日）

- ・宇陀市立室生西・室生東小学校統合準備会議要綱の制定について

■ 3月臨時教育委員会①（3月14日）

- ・審議事項なし、報告事項のみ

■ 3月臨時教育委員会②（3月20日）

- ・平成26年度奈良県教職員人事異動について

■ 3月定例教育委員会（3月25日）

- ・室生地域小学校再編統合準備会議規則の制定について
- ・宇陀市立学校における個人別生活カードの運用に関する要綱の制定について
- ・宇陀市就学援助に関する要綱の一部改正について
- ・社会教育委員の委嘱について
- ・スポーツ推進委員の委嘱について
- ・公民館運営審議会委員の委嘱について
- ・宇陀市地域公民館活動支援補助金要綱の一部改正について

■ 3月臨時教育委員会③（3月28日）

- ・教育委員長の選挙について
- ・教育委員長の職務を代理する委員の指定について
- ・教育長の互選について

他 協議事項17件 報告事項32件

■ 協議事項6件、報告事項40件

◆ 教育委員会会議以外の活動

[学校訪問]

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条の規定に基づき、5月から6月にかけて小学校7校、中学校4校、幼稚園5園そして保育所5所を訪問した。

学校長等から、今年度の学校経営の重点項目、教育課程の特色、今年度の創意工夫の点などについて説明を受け、その後、「学校教育法施行規則」及び「宇陀市学校管理運営規則」に基づく次に示す各種表簿を点検した。

＜各種表簿＞

学校日誌・出勤簿・出張命令簿・教育計画書（教育課程）
指導要録・健康診断に関する表簿・薬品管理簿等

学校施設・設備の視察・点検、すべての児童・生徒等の学習・授業の様子を参観した。

その後、改善点について意見交換を行うとともに、教育の課題を探り、学校長等に対し指導・助言を行った。

訪問の目的は、学校教育の充実に寄与することである。

また、入学式、卒業式、体育大会等学校行事への参加を通じて、児童・生徒の活動状況を参観した。

奈良県教育委員会が定める「学校教育の指導方針」ならびに「宇陀市学校教育の指導方針」に添った教育がなされているか、教育委員、教育長、指導主事及び事務局職員、さらに県教育委員会事務局教職員課の管理主事も加わり、次に示す観点で実態を調査した。

＜実態把握の観点＞

県及び市の学校教育に関する方針に添った重点施策
学校の経営方針・教育課程（教育方針と重点指導）
特別支援教育・道徳・人権教育・生徒指導・研究主題
職員研修・児童生徒の安全確保と危機管理・評価の実施と公開
家庭や地域との連携等

〔教育委員・教育長研修等〕

- ・奈良県都市教育長協議会 平成25年 4月18日（奈良市）
平成25年 8月 6日（橿原市）
平成25年10月11日（ 〃 ）
平成26年 2月 4日（ 〃 ）
- ・近畿都市教育長協議会定期総会 平成25年4月25日～26日
（滋賀県草津市）
〃 研究協議会 平成25年10月30日～31日
（滋賀県守山市）
- ・全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会
平成25年5月29日～31日
（北海道旭川市）

- ・奈良県市町村教育委員会連合会会議

平成25年5月7日（奈良市）

- ・近畿市町村教育委員研修大会 平成25年10月18日（橿原市）

以上の研修を通じて自己研鑽に努めるとともに、教育事情調査や教育相談等の日常活動に努めています。

4 各施策・事業の取組状況と支援員の意見

各施策・事業点検評価シートは、「宇陀市総合計画に基づく基本計画」にそって、項目ごとに主な施策・事業を点検し、評価した結果である。

シート中の『達成度』『必要性』『有効性』とは、教育委員会が次の基準により判断したものである。

- | | | |
|---|------|----------------------------|
| A | 高い | （概ね期待通りの成果が上がり、目標を達成できた。） |
| B | やや高い | （ほぼ目標を達成したが、改善の余地がある。） |
| C | やや低い | （目標をあまり達成できなかったため、改善を要する。） |
| D | 低い | （目標を達成できなかった。） |

また、『点検評価支援員による総合評価』『今後の方針』については、それぞれの欄外に評価項目を5段階評価とし、※印で示している。

施策・事業の点検・評価 一覧

宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業	自己評価			総合評価
	達成度	必要性	有効性	
◆安全・安心な学校づくり				
1 安全・安心メール配信システムの導入	B	A	B	2
◆誰もが尊重される共生のまちづくり				
2 人権教育の推進	B	A	A	1
◆男女共同参画社会の実現				
3 女性参画の推進				
(1) 市女性の会	B	A	A	2
(2) 公民館活動女性学級	C	A	A	2
◆教育環境の整備充実				
4 宇陀市の特色ある教育推進〔教育センター事業〕				
(1) 教職員研修・教育相談・調査研究	B	A	A	1
(2) 適応指導教室「はばたき」	B	A	A	1
(3) 通級指導教室「ほほえみ」	B	A	A	1
5 特別支援教育の充実	B	A	A	1
6 英語教育の推進(外国語指導助手・中学校)				
(1) 外国語指導助手・小学校	B	A	A	1
(2) 外国語指導助手・中学校	B	A	A	1
7 教育施設の耐震化	A	A	A	1
8 大宇陀小学校建設事業(第1期工事)	A	A	A	5
9 施設維持				
(1) 教育施設の維持修繕	B	A	A	2
(2) ICT環境整備	B	A	A	1
10 スクールバス運行事業	B	A	A	2
11 学校給食賄材料購入事業	B	A	A	2
◆生涯学習の充実				
12 地域ぐるみの子どもの育成	B	B	B	2
13 子どもフェスタ	A	A	A	2
14 市民が参加する生涯学習の充実				
(1) 公民館活動の充実	B	B	A	2
(2) 地域公民館活動支援事業	B	B	B	4
(3) 図書館運営の充実(中央図書館・大宇陀分館)	B	A	A	1
◆スポーツ・レクリエーションの充実				
15 宇陀シティマラソン	A	A	A	1
16 スポーツ事業の支援	B	A	A	2
17 スポーツ施設の整備充実				
(1) 総合体育館・総合運動場運営事業	B	B	B	2
(2) 室内温水プール及びテニスコート管理運営事業	B	B	B	2
18 小学校水泳教室事業	B	B	B	1
19 水泳教室事業	B	B	B	1
20 宇陀市小学校対抗子ども駅伝大会	B	B	B	1
◆歴史・文化資源の保全と活用				
21 文化財の保存整備				
(1) 文化財保存修理等補助事業	B	A	A	2
(2) 薬の館管理運營業務	B	A	A	1
(3) 重要伝統的建造物群保存地区保存事業	B	A	A	2
(4) 埋蔵文化財発掘調査事業	B	A	A	1
(5) 国重要文化財・片岡家文書調査事業	B	A	A	1
(6) 街なみ環境整備事業	B	A	A	1
(7) 史跡宇陀松山城跡保存整備事業	B	A	A	1
22 文化活動の支援	B	A	A	2

自己評価 「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 教育環境の整備充実 － 安全・安心メール配信システム運用		所管課	教育総務課		
事業の概要	平成22年度きめ細かな臨時交付金事業により、保育所・幼稚園・小学校・中学校・学童保育室・子育て支援センターの保護者を対象としたメール配信システムを構築し、各種学校等からの連絡や緊急時の安否確認等、双方向の連絡システムを構築した。 このシステムの特徴は、一方的に送信するだけでなく、回答機能を装備していることにより、各種アンケートや会議の出欠等、迅速かつ的確な集計等が行える。 又、地震等の緊急時の通信も気象庁と連携していることから、緊急時の安否確認が自動的に発信される。					
目標・実績	幼稚園・保育所・小学校・中学校・子育て支援センター・学童保育室の職員及び児童・生徒の保護者並びに教育委員会等の2,958件の登録済みであり、約89.2%の加入率となっている。					
教育自己評価委員会の	成果と課題					
	システム利用者(登録者)も増加し、発信者(学校等)からも、各行事についての案内等を発信でき、有効な情報伝達のひとつとして確立できた。 しかしながら、発信者によつての利用の度合いが異なるため、学校間での格差があった。					
	達成度	B	必要性	A	有効性	B
	評価理由	学校からの連絡事項についてこのシステムを活用して、情報伝達手段の一つとして活用した。	評価理由	保護者にも、このシステムの利便性、重要性も浸透していることから、色々な情報伝達に活用することが可能である。	評価理由	このシステムを活用することにより、正確かつ迅速な情報伝達が行えることから、緊急時の活用も含めて有効な情報伝達手段の一つである。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の主な意見から	<p>気象庁との連携により情報がいち早く確認できることは大変役立っている。個人情報に配慮しながら登録者の増加を図っていただきたい。 本システムの有効性を高く評価し加入率も増やしたいが、配信システムが双方向にあるので、情報を伝達する多手法との関連も考慮しながら利用・活用されたい。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>スマホを始めとする携帯電話の普及で、リアルタイムにメールで一斉に連絡ができる有効な伝達手段であり、今後も防犯・災害時に活用できる。学校独自の伝達情報を工夫し、加入率の向上を図る。</p>
	事業の総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 誰もが尊重される共生のまちづくり － 人権教育の推進			所管課	教育総務課
事業の概要	宇陀市教育センター研修の講座に、人権教育に関わる講座を開催する。 宇陀市の教職員の研究組織である、宇陀市人権教育研究会の活動を支援するために、補助を行う。 宇陀市における人権教育の基本的な指針を示す。				
目標・実績	人権教育研修では、市内幼保小中より参加者25名を迎え、人権教育は人間教育であること、人間性豊かな人の営みが人権教育であること等、人権教育の本質についての理解を深めた。 宇陀市の人権教育の推進を図るため、教職員の研修支援及び研修会の参加の補助を行った。市内各校の教職員に「宇陀市人権教育の推進」を配布し、人権教育の方向性を示した。				
教育自己評価委員会の	成果と課題				
	教育センター研修の内容をさらに充実したものにするとともに、教職員の積極的な参加を促す。 人権教育の視点を、他の研修講座についても大切にしながら進めていく。 教職員の研修参加などへの補助については、支出内容の目的や効果を継続して点検していく必要がある。				
	達成度	B	必要性	A	有効性
評価理由	センター研修等において、人権教育の必要性への認識がさらに向上したのではないかと考える。今後、各所属でその意識をどのようにして日々の実践に移行していくかが大切である。		評価理由		評価理由
			自他の人権の実現・養護のための能力や感性の育成のために、人権教育は不可欠である。そのための教育センター研修の必要性は、言うまでもない。		人権感覚豊かな子どもたちを育成していくためには、教職員集団の人権感覚を豊かなものとしていくことが大切である。人権教育に関わる教育センター研修等は、有効な手段の一つであると考ええる。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の主な意見から	<p>人権教育は教育の核であり、教職員研修に取り入れられていることは、人権教育の本質についての理解を深めるには有意義である。 「人を大事にする人は、人からきっと大事にされる」これは人権教育の基本である。このことが尊重される社会の実現に向けて、事業の更なる強化と充実をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>				
--------------	---	--	--	--	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>教職員を対象とした教育センター研修講座において、人権教育に関する講座を引き続き開設し、教職員の人権意識の醸成や更なる深化に努める。また、人権教育にかかわる活動への負担金支出についても、適正に支出していく。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>				
-------	---	--	--	--	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 男女共同参画社会の実現 － 女性参画の推進(市女性の会)			所管課	生涯学習課
事業の概要	<p>少子高齢化、老人介護の現実がある宇陀市にあって、半数以上を占める女性が、いきいきと活発に、それぞれが生きがいを感じられるような自主活動を展開することは宇陀市の大きな財産である。女性の地位向上とうるおいあるあたたかい地域社会、男女共同参画社会を構築していくために、女性の会は重要な役割を担っている。男女共同参画の地域づくりを進めていくために、地域のリーダー的役割を果たせる女性を育成する活動を支援する。</p>				
目標・実績	<p>女性の地位向上と地域社会の健全な発展を目的に活動している女性の会の活動を支援するとともに、その活動に対して補助金を支出した。</p>				
教育自己 委員会 の 評価	成果と課題				
	<p>宇陀市女性の会は、毎年従来の活動に加えて市の様々な事業にボランティアスタッフとして参画し女性の活動をPRした。しかし、会員の高齢化が進むなど、会員の減少が進みつつある。会員の加入促進と地域に根ざした活動が求められる。</p>				
	達成度	B	必要性	A	有効性
	評価理由	評価理由		評価理由	
	本来の女性の会としての事業が少ない。また、会員数の増加が見込まれていない。	女性の社会参加を促すうえで女性の会は重要な役割をはたしており、男女共同参画などの活動を支援する必要がある。		男女共同参画の正しい認識に立ち、うるおいのあるあたたかい社会を築くためには、女性の会の存在は有効である。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の 主なる 意見 から	<p>女性が尊重される社会は市民生活を向上させ、地域の活性化につながり、男女共同参画の地域づくりに寄与することになる。そうした気運や雰囲気を作るため地域で支えあうこと、地域ぐるみであることが大切な要因である。</p> <p>ボランティア活動や文化活動の実施など女性の会の活動を拡大させ、周囲で女性の会を支える雰囲気作りが必要である。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の 方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>地域社会への関心が薄れている現代社会で、各個人を尊重した生活スタイルとなり会員が減少しているなか、ペットボトルキャップを回収し、ワクチンを海外へ送る事業に取り組んでおり、こうした事業を拡大していき、女性の会会員数の増加及び男女共同参画の地域づくりのため今後も支援を行いたい。</p>
	事業の総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 男女共同参画社会の実現 － 女性参画の推進(公民館活動女性学級)		所管課	中央公民館		
事業の概要	「すずらん学級」として、男女平等社会の実現をめざした学習機会と、その情報提供のために生涯学習女性学級活動事業を開催する。更に教養を高めるため、各テーマの講座や社会見学を実施する。					
目標・実績	目標) 幅広い知識や教養を学習するとともに参加者相互の交流を図る。また、情報提供を行い生きがい作りにつなげていく。 実績) 4回開催 参加者49名(6回開催予定であったが、2回は参加者少数のため中止)					
教育自己評価委員会の	成果と課題					
	平成25年度からは、各分館で実施していた当学級を市全体対象として中央公民館による一括運営とした。会場は各分館で開催したり社会見学も実施するが、応募率が約35%と低い状況であった。また、学習テーマによっては受講率が極端に低かった。					
	達成度	C	必要性	A	有効性	A
	評価理由		評価理由		評価理由	
	市民のニーズにあった講座の内容を検討し、魅力ある講座を開設する必要がある。		男女共同参画社会の実現をめざした学習機会と、その情報提供のために必要である。		女性の抱えているさまざまな現在の課題を学習し、女性が持っている学習要求に応える。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	男女共同参画社会へと6年目の取り組みの一つとしてすずらん学級があるが、参加者が少ないのも参画社会実現には克服すべき課題である。参加者が増えるよう女性に魅力ある講座を探り、その開発を目指したい。
	点検評価支援員による総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 受講者へのアンケートを実施しており、その結果を踏まえて、女性の方々にとって魅力ある講座を開設していきたい。また、開催場所(各分館)、開催日(土曜日・日曜日)や開催時間(夜間など)についても、より多くの方が参加しやすい環境を整えたい。
	事業の総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 教育環境の整備充実 － 教育センター事業(教職員研修・教育相談・調査研究)			所管課	教育総務課
事業の概要	市の教育の諸課題に応じた教育の円滑な運営を図るため、学校教育及び幼児教育に係る教職員研修、調査及び研究、教育相談、適応指導教室を実施している。平成21年10月に要綱改正を行い、平成22年度より研修内容充実及び教育相談を新規開始した。平成23年度より、特別支援教育心理等専門家チームを派遣し、各学校への支援事業を始めた。宇陀市教育委員会では、「教職員研修」「調査及び研究」「教育相談」「適応指導教室」を教育センター事業の4本柱と位置づけている。				
目標・実績	宇陀市の教育を担う教職員の研修を、平成25年度は大学教授や文部科学省視学官、弁護士等を講師に招き合計21講座開設した。のべ440名の教職員が参加し研修を行った。また、「保育の質向上のための研修事業による講師派遣」を特別支援、体力向上、思考力の各分野で合計9回実施した。心理専門員による教育相談は心理専門委員を2名に増やすことで合計140件に及んだ。適応指導教室「はばたき」では毎週2日開設して、相談は13件、通室回数はこのべ101であった。 「市指定研究校」として3校1グループが研究を進め、「市教育研究論文第5集」を発刊した。また、「宇陀市プレ英語スピーチコンテスト」を実施、小学生2名、中学生23名、高校生6名が参加し英語学習の成果を発表した。				
教育委員会 自己評価 の	成果と課題				
	これまで確立されてきた「教職員研修」「調査及び研究」「教育相談」「適応指導教室」の4本柱を継続して実施できた。事業内容として定着しつつあるが、今後は「教育センター」機能の更なる充実を図り、事業の質を向上させていくことが課題である。宇陀市の教育の中核となるべき研修及び教育相談の場所を継続・確保し、教職員が研修しやすい環境づくりを整えることが必要である。				
	達成度	B	必要性	A	有効性
	評価理由		評価理由		評価理由
	教育センター事業は継続実施できたが、さらに「教育センター」機能の充実を図り、事業の質を向上させていくことが課題である。		宇陀市の将来を見据え、宇陀市の教育を担う教職員の志気を高め、指導力の向上を図ることが重要である。		学校現場への専門家の派遣や適応指導教室の開設等はさまざまな角度で学校や子どもたちを支援するために有効である。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の 主なる 意見 から	<p>多様な研修講座の開設、専門員による教育相談等、有効に働いている。英語スピーチコンテストもこれから継続していく中で、益々内容の濃いものになっていくと思われる。</p> <p>研修は教職員の使命であり、自己を知り、自己を磨くことは、何より目の前の児童生徒を変えることにつながる。また、研修で得たこと、得た力を自分だけのものではなく、他者へ広めることも大切にしたい。本事業のさらなる深化をお願いします。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>引き続き教育センター事業の充実を図る。教職員研修については、教職員の意識調査を行いながら研修を精選して開設し、教職員の専門性を高め、指導力向上に繋がるよう取り組んでいく。今年実施した全体研修を今後も実施し、宇陀市内の教職員がともに学ぶ機会を大切にしたいと考える。また、保育の質向上研修や特別支援教育心理等専門家チーム派遣事業において、学校の実情に合わせた専門家の支援ができるよう現場での研修を実施する。教育相談においては、発達や不登校について保護者や教職員の相談にのれる体制を継続していく。スピーチコンテストも今年で3回目になり、参加する児童も増えてきている。小学生・中学生・高校生が一堂に会して日頃の学びを発表できる取組として、これからも継続する。</p>
	事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	<宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業> 教育環境の整備充実 — 教育センター事業(適応指導教室 はばたき)		所管課	教育総務課		
事業の概要	小・中学校等と連携し、不登校児童生徒等についての指導支援を行う。また、不登校児童生徒等に対する相談を保護者、教職員に対しても行う。					
目標・実績	小中学校の不登校児童生徒の自立を図り、在籍校への復帰を促すとともに、状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習継続への意欲を図ることを目的とする。					
教育自己 委員 評価 の	成果と課題 平成25年度は5名の正式通室生徒がおり、開室日の水曜日と金曜日は指導員が2人体制になる。子どもの通室はもちろん、学校・教師(担任、養護教諭)との連携、調整を行っている。指導者の増加により、心理検査の分担や幼児の指導、同時間帯での複数指導、グループ指導など新たな指導を行った。					
	達成度	B	必要性	A	有効性	A
	評価理由	通室者の学校には行けないが、「はばたき教室に行く」という信頼のできる場所を作ることができ、広報により児童生徒、保護者や学校へのはばたき教室の周知もできた。		評価理由	通室者の児童生徒に、学校ではないが、「自分がいることのできる場所」となっており、保護者、学校からも、「相談のできる場所」となっている。	
	通室者を自然に受け入れ、落ち着ける場所、自分を理解してくれる場所となっている。また通室者で卒業、高校入学者、学校に復帰できた生徒もいた。					

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 員 から の 主 な 意 見	適応指導教室を通して、学校への復帰を目指してカウンセリングと並行しての学習支援や、何より、再び学校の仲間と共に学べるよう個々のニーズに応じたサポートが大切である。 計画的な学習を取り入れ、そこが避難場所となってしまうよう配慮をお願いしたい。
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の方 針	<施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性> 関係機関との連携を図り、家庭に閉じこもった児童生徒や別室登校生を「はばたき」に通室させ、在籍校への復帰を目指す。
	事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 教育環境の整備充実 － 教育センター事業(通級指導教室 ほほえみ)			所管課	教育総務課	
事業の概要	小学校の通常の学級に在籍しているが、特別な教育的支援を必要としている子ども達へ、担任以外の教育専門員によりそれぞれの子どもの実態に応じて通級による指導を行う。保護者、教職員、幼児に対しても相談業務を行う。					
目標・実績	言葉の発達などの問題のため、本来もっている能力を十分に発揮しきれない児童に対し、個々に応じた指導を行い、生き生きと、スムーズに学校生活や社会生活を送れるよう支援する。平成23年度から開始し、通級指導児童が21名になり、定期的な指導相談ができています。教職員の相談や指導参観、教育相談も増加傾向にあり、相談件数93件、のべ相談回数785回となった。					
教育自己 委員会 の 評価	成果と課題 幼児の相談を望む声が多く、相談に来られる回数が増加している。幼児期の言葉や発達についての相談に対して需要が高く、今後も増加していく傾向にあると思われ、継続的な相談指導を希望されている。また、家庭から出て、幼稚園等集団の場に入ることにより、社会性やコミュニケーションについて苦手とすることがわかり、相談に来られる。小学校就学前からの指導によりスムーズに一年生を迎えられた児童もいる。今後も幼児指導の件数は増加していく傾向にあると思われる。通級児童が増え教材等の作成及び指導の準備に時間がかかることが課題である。					
	達成度	B	必要性	A	有効性	A
	評価理由	「ほほえみ教室」とは何をしている所かということが、必要としている人に理解してもらうことができ、利用者が増加した。		評価理由	幼児の利用が増え、幼児期、学童期での早期対応、早期療育の需要が高まっている。	
			評価理由	幼児に対する支援を厚くし就学に向けての相談の架け橋とっている。また、継続した学童期の指導による困難の軽減等に繋がっている。		

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の 評価 員 の 意見 から	<p>小一(中一)の壁、小一プロブレムといわれる昨今、幼保小中の連携がますます重要視されている。「子ども・子育て支援」の新制度の2015年スタートを目指した貴重な事業、取り組みである。専門員による早期指導は有効である。今後より一層の充実を期待する。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の 方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>特別な支援が必要な幼児が年々増加し、多様化していく中、保護者の相談体制も含めて個別指導をしていかなければならない。そのため関係者の連携を強化し、サポート体制の構築に努め、事業を展開していく中で、人材確保も含めて国・県など広域的な取り組みが必要である。</p>
	事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 教育環境の整備充実 － 特別支援教育の充実			所管課	教育総務課	
事業の概要	平成18年の学校教育法の改正により、小・中学校等に在籍する教育上特別の支援を必要とする障害のある幼児児童生徒に対して、障害による困難を克服するための教育を行う事が位置づけられた。宇陀市においても特別支援教育を推進するため、「特別支援教育支援員」の配置、教職員の専門性向上の研修を実施する。 幼稚園・保育所・小学校・中学校に職員の加配を実施している。					
目標・実績	社会のノーマライゼーションの進展、障害の重度・重複化など特別支援教育を巡る状況の変化を踏まえ、障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育が行われるよう、市内の全ての幼稚園・小・中学校において特別支援教育の一層の充実に努める。 教職員の専門性の向上のための教育センター研修、教育相談の実施、特別支援教育心理等専門家チームの派遣など、教育現場と教育委員会がそれぞれの役割を確実に果たしている。					
教育自己評価 委員会の	成果と課題 教育センター研修の開催など、教職員の専門性の充実に図っているが、参加者が、特別支援担当者に限られ学級へのフィードバックに課題があるなど、改善点はある。しかし、保護者との信頼関係が深まることや、個別の教育課程の設定など、多くの点で専門性の充実に図られている。今後は、より多くの教職員の研修参加や、個々の応じた教育を行っていくために支援員の配置に努めなければならない。					
	達成度	B	必要性	A	有効性	A
	評価理由	評価理由		評価理由		
	保護者と連携しながらの取り組みが見られることなど、学校からの取り組みからの拡がりがあるが、その数を増加させていく必要がある。		診断等を受けていない、いわゆるグレーゾーンにいる子ども達への取り組みを一層充実させる必要がある。		個別の教育課程の設定による各園・校の実践が、スモールステップではあるが課題克服が多く見られる。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の 評価員 から	<p>個々のニーズに即した特別支援職員の加配に併せて、各校園間の実践交流や、コーディネーターの連携が今以上に必要になってくる。特別支援担当者だけでなく、全教職員が研修ができるような研修プログラムの企画を望む。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>特別支援教育は、全ての教職員が一丸となって取り組み実践していくものである。そのためには、各園校のコーディネーターを中心に計画的に研修実践を実施しなければならない。また、特別支援教育の専門家を派遣し、個々の教職員の資質向上を図る。幼小中の連携を図り継続的に支援するために、個々の教育支援計画の作成をしなければならない。</p>
	事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 教育環境の整備充実 － 英語教育の推進(外国語指導助手・小学校)			所管課	教育総務課
事業の概要	ALT(外国語指導助手)を配置し、市内7小学校の外国語活動授業で、クラス担任と連携し、Hi, friends!(副読本)を活用したチームティーチングを行う。小学5, 6年生の21クラスに対し、各校年間30回を実施します。(外国語活動及び国際理解に関する教育の補助・外国語教材作成の補助) また、幼稚園、保育所、子育て支援センターに対し、年間各6回訪問し英語指導を行う。				
目標・実績	外国語活動において、音声を中心に外国語に慣れ親しませる活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地を養うことを目標としている。 幼児期からネイティブな英語に慣れ親しむことにより、英語に対する関心や興味が高まり英語力の向上につながっている。				
教育委員会 自己評価 の	成果と課題				
	子ども達はネイティブの英語に触れることができる授業を体験している。また、ALTの国の生活や行事などを聞くことができ、日本との違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付くことができる。今後もALTのチームティーチングの仕方を工夫し、より効果的な外国語活動の指導につなげていきたい。				
	達成度	B	必要性	A	有効性
	評価理由		評価理由		評価理由
	幼児期からネイティブな英語に慣れ親しむことにより、児童の英語に対する関心・興味が高まった。		子ども達の国際的な視野を広げる上でも、外国語指導の充実が重要となっている。		英語に対する関心を深め、国際感覚を磨くことにつながり、地域の国際化が期待される。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 員 の 主 な 意 見 か ら	<p>幼少期より英語に触れ楽しむことは、将来の英語学習を有効にするものがある。小学校で英語が指導できる教員の配置は、現状、時間とコストがかかるためALTの更なる配置を願うとともに、楽しく英語を学べる工夫を行い、消化不良(英語嫌い)にならないように、効率的な英語教室の推進を願う。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
--	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>国際社会において活躍できる人材養成には、幼児期からの早期の生きた英語教育が必要になってきている。現在は、学校だけでなく、幼稚園、保育所、支援センターへの訪問も実施しているが、ALTの更なる有効活用に努める。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
---------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 教育環境の整備充実 － 英語教育の推進(外国語指導助手・中学校)			所管課	教育総務課
事業の概要	ALT2名を配置し、市内の4中学校の英語授業で、担当教員の指導助手として常時勤務する。定期試験中などには、小学校においても外国語活動の補助を行う。 ALTは、文科省や自治体国際化協会の協力の下に実施される「語学指導等を行う外国青年招致事業」からの派遣である。				
目標・実績	本来の英語教育の充実、さらに外国青年による地域レベルの国際交流の進展を図ることを通し、諸外国との相互理解の増進等を目的とする。授業で、ネイティブスピーカーを活用することにより、児童・生徒の興味・関心が高まり英語力の向上につながっている。また、生徒の外国語スピーチコンテスト参加への指導により、成果をおさめている。				
教育自己評価委員会の	成果と課題				
	国際化に伴い、英語に対する興味・関心が高まる中、小中学校での外国語指導の充実が重要となっている。外国人ALTとの異文化体験を通し、言語に対する関心を深め国際感覚を磨くことにつながる。地域の国際化、ひいては日本の国際化に資することが期待される。				
	達成度	B	必要性	A	有効性
	評価理由		評価理由		評価理由
	児童・生徒の興味・関心が高まり英語力の向上につながっている。		外国語指導の充実と国際交流の進展を図る。		英語に対する関心を深め国際感覚を磨くことにつながる。また、英語指導に携わる教師の英語力アップに有効である。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	<p>ALTの入った授業で生徒は生き生きと、そして、楽しんでいるように見受けられる。英語を読む、聞く、話すことがますます必要な時代となり、ALTの存在が貴重である。個々の生徒が生徒の体験をできる機会を少しでも多くするために、更なる加配増をお願いする。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>幼稚園・保育所で‘Hello,English(ハローイングリッシュ)’を始めて今年で2年目になる。幼少期から外国の先生に出会い、外国語に触れることで世界や世界の言葉に興味を持ってくれることを期待している。今後幼少期から中学校までの学びをつないでいきたいと考えている。更に学校現場での外国語学習を進めるとともに、宇陀市英語スピーチコンテストを始め市内の外国語のイベントにも参加して、市内全体の意識を向上させたい。</p>
	事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 教育環境の整備充実 － 教育施設の耐震化			所管課	教育総務課	
事業の概要	平成24年度に策定した「宇陀市学校施設耐震推進計画」に基づき、年次的に耐震補強等工事を実施し、平成27年度末までに、耐震化率100%を目指す。					
目標・実績	耐震補強工事に併せて大規模改修工事を実施し、児童・生徒の良好な教育環境を確保した。 ■完了事業 大宇陀中学校耐震補強等工事 榛原小学校耐震補強等工事					
教育自己評価委員会の	成果と課題 大宇陀中学校耐震補強等工事並びに榛原小学校耐震補強等工事が完了したことにより、安全かつ快適に教育が受けられる良好な教育環境が整備できた。 又、夏休みに工事を集中させることから、十分な準備と早期着手が必要であり、工事期間中は、十分な安全対策を講じるよう工事監理を行う。					
	達成度	A	必要性	A	有効性	A
	評価理由	評価理由	評価理由	評価理由	評価理由	
	予定していた、2校の耐震補強等工事が完了した。	今後も、児童・生徒が安全に学校生活を送れるよう、耐震化事業については、計画書に基づき、計画的に事業を展開する。		安全かつ快適に教育が受けられる良好な教育環境が整備できた。		

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の主な意見から	<p>教育環境の整備の充実は、教育の充実に直につながることになる。平成27年には耐震化率100%を目指す年次計画と併せての改修工事の推進は画期的な事業と評価したい。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
--------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>平成27年度に学校施設耐震化率100%を目指し、工事も大詰めの時期に来ている。尚、体育館棟の耐震化が完了した場合、今後の社会体育施設の公共ファシリティマネジメントとの関係から、小学校は市民に広く休日開放するなど施設の有効活用を検討していく。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 教育環境の整備充実 － 大宇陀小学校建設事業			所管課	教育総務課	
事業の概要	大宇陀小学校1期工事とし、校舎並びに体育館の新築工事が完了し、平成25年度中に、旧校舎の解体工事(2期)、ランチルーム改修・外部倉庫等の新築工事(3期)、グラウンド・周辺整備工事(4期)を行うことにより、大宇陀小学校建設事業のすべてが完了する。					
目標・実績	次の工事について、年度内に完了したことにより、全ての大宇陀小学校建設事業が完了した。 大宇陀小学校建設工事(2期)・旧校舎解体工事 大宇陀小学校建設工事(3期)・ランチルーム改修・外部倉庫(トイレ)・貯油庫新築 大宇陀小学校建設工事(4期)・グラウンド改修・外構工事					
教育自己評価委員会の	成果と課題					
	1期工事から引き続き、2～4期工事が完了した。					
	達成度	A	必要性	A	有効性	A
	評価理由	すべての工事が完了し、野依小学校との再編統合が行えた。	評価理由	大宇陀小学校建設工事の実施により、児童が安全かつ快適に教育が受けられる良好な教育環境が整備された。	評価理由	大宇陀小学校建設工事の実施により、児童が安全かつ快適に教育が受けられる良好な教育環境が整備された。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の主な意見から	<p>すばらしい環境の中が整い、大宇陀小学校の完成、嬉しい限りである。今後の維持管理に配慮をお願いする。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 5 】 総合評価は1期工事について</p>
--------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>全てのハード事業が終了したことにより、先進的な学校として外部にアピールを行う。また、児童には、物の大切さの教育を行うとともに、定期的な維持補修を行い、建物の長寿命化を図っていく。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 5 】</p>
-------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 教育環境の整備充実 － 教育施設の維持修繕			所管課	教育総務課	
事業の概要	老朽化した校舎を中心として、必要な修繕箇所は増加する一方であるが、最小限必要な修繕を行うことにより、学校施設の寿命を延ばすとともに、安全で安心して生活できる教育環境を整える。 修繕の財源は一般財源であるため限られており、耐震補強や大規模改修に併せた修繕を計画しており、予算を有効に活用して必要な修繕を実施していくことが必要である。					
目標・実績	小学校 菟田野小学校・榛原東小学校学童保育室整備 中学校 榛原中学校水路修繕・大宇陀中学校電話機移設改修 幼稚園 室生子ども園エアコン修理・榛原幼稚園鍵取替修繕					
教育自己 委員会 の 評価	成果と課題 老朽化した校舎を中心として、必要な修繕箇所は増加する一方であるが、最小限必要な修繕を行うことにより、学校施設の長寿命化を図り、安全で安心して生活できる教育環境を整える。					
	達成度	B	必要性	A	有効性	A
	評価理由	評価理由		評価理由		
	緊急性のあるものから、優先的に維持修繕が行えた。		建物の長寿命化と児童等の安全で安心な教育環境の整備が必要。		建物の長寿命化を含め、定期的な修繕が必要。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の 評価 員 から の 意見	<p>各校園の施設設備の改修が各年次、計画的に企画実行され大変ありがたく深謝するとともに、次はこれ等の日常の維持管理の有り様を探りたい。今後は、使用する側への指導も各校園でなされることを望む。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 2 】</p>
---------------------------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の 方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>老朽化した校舎を中心として、最小限必要な修繕を行い、学校施設の寿命を延ばすとともに、安全で安心して生活できる教育環境を整える。 また、課題である平成28年度以降の校舎大規模改造事業の進め方について、事業費の縮減、平準化なども踏まえ、学校施設の整備の方向性を検討するとともに、老朽化対策工事やトイレの洋式化などの機能向上の工事などを適正な時期に施工できるよう検討する。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 2 】</p>
-----------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	<宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業> 教育環境の整備充実 - ICT環境整備・運用			所管課	教育総務課	
事業の概要	年次計画により、定期的にパソコン教室整備を行い、可能な限り最新機器へ更新する。機器の導入によりパソコンに慣れ親しむ環境づくりを実施する。					
目標・実績	平成25年度実績 大宇陀中学校・榛原中学校のパソコン教室の整備 平成26年度予定 菟田野中学校・室生中学校のパソコン教室の整備予定					
教育自己 委員会 の 評価	成果と課題 平成25年度実績 大宇陀中学校・榛原中学校のパソコン教室の整備 ハード面での整備については、計画的に導入しているものの、ソフト面での支援が必要。今後、ICT支援員の派遣が必要と考えられる。					
	達成度	B	必要性	A	有効性	A
	評価理由	計画的な整備が行えた。		評価理由 ICT環境教育を行うのに、時代に合った機器の整備が必要。	評価理由 ICT環境教育を行うには、機器の更新は、有効である。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 員 から の 主 な 意 見	教育機器のハード面での整備にみ合うよう、こうした技術進歩に遅れがちなソフト面の充実を両立させ、同時進行していく必要がある。
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の方 針	<施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性> ICT支援員派遣事業を中心とした、情報教育環境の推進を図る。 教育用コンピュータ等の機器及びソフトウェアの整備については、WindowsXPのサポート終了に伴い、児童生徒用・教師用ともに、計画に基づいた機器の整備を進める。
	事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 教育環境の整備充実 － スクールバス運行事業			所管課	教育総務課	
事業の概要	市内の4幼稚園・2保育所・6小学校・2中学校において、園児・児童・生徒等約720人を対象に、送迎用のスクールバス等を運行している。総数29台のスクールバスを有し、学校等への送迎の通常分として31ルートを運行するほか、校外学習等の学校行事でスクールバスを臨時運行している。運行は一般乗合旅客自動車運送事業若しくは一般貸切旅客自動車運送事業の許可を有する専門事業者に年間委託している。					
目標・実績	奈良労働局より従来のバス運行事業者との契約が労働者の派遣にあたる可能性があるとの指摘を受けたため、運行のほか、車両の維持管理についても事業者によって管理するよう契約を改め、効率的な運用を試みた。 市内の幼稚園、保育所、小学校、中学校の登下校の支援の通常運行のほか、校外活動の移動支援や体育館改修等により、自校で体育授業を行えない学校の体育授業や水泳授業を支援するため、総合体育館等への臨時運行を行った。					
教育委員会 自己評価	成果と課題 運行を急ぐあまり、運転が乱雑であったり、乗車する児童・生徒がなくバス停を通過することにより通常より運行が早まる事が一部にあるなど、引き続き安全運行の指導徹底を図る。 昨年、課題としていたあいさつなど、児童・生徒のバスの乗車マナーの向上している。					
	達成度	B	必要性	A	有効性	A
	評価理由	乗車マナーは向上したが、運転士の意識改革などさらなる安全運行の向上が必要。		評価理由	通常運行に加え、臨時運行の運行回数が増え、有用性が増している。	
				評価理由	園児・児童・生徒の登下校(園)支援、学習支援のほか、児童生徒の登下校時の安全確保にもスクールバスによる通学は有効な手段である。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	<p>スクールバスの登下校の関わりや、他の活用(校外学習や水泳教室への送迎)もあり、大変ありがたい事業である。一方付随して、バス乗降地点と各家との間の安全について確認しておく必要もある。 また、バス内でのマナーを指導するために、市職員の添乗を度々お願いしたい。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>スクールバスによる通学は距離等の要件から徒歩通学が困難な児童・生徒の通学支援の用に供するだけでなく、登下校時の安全対策としても有効な手段であるため、運行委託業者に対し、安全運行の徹底、社員教育による運転技術の向上を徹底するよう指導する。 また、児童、生徒に対しては、乗車マナーを守るように学校と連携を取りながら指導するほか、児童・生徒の自宅よりスクールバス乗降地点までの安全確保についても徒歩通学路同様に適宜点検を行い、向上に努める。</p>
	事業の総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 教育環境の整備充実 — 学校給食賄材料購入事業			所管課	学校給食センター
事業の概要	子ども達に「おいしく、安全・安心な給食」を提供するために、国産物資、国内加工、地場産物を基本購入として、無添加食材特に地場産を中心とした旬の食材活用を積極的に取組んでいく。 また、県給食会との連携を深め情報入手を積極的に行う。				
目標・実績	市内・県内の地場産物の積極的な利用を行う。食材の安全衛生管理の徹底。①食材の産地表示。②出荷制限のある14県の食材は、放射能物質の検査を実施。③加工食品は、原材料とその産地を確認。④学校給食衛生管理基準に基づく食品検査を複数回実施。また、情報提供として、食材のアレルゲンについて、アレルギー除去食対象の保護者に情報提供する。学校給食材料購入費：120,412,826円				
教育自己評価委員会の	成果と課題				
	市内、県内の地場産物を取り入れた献立の工夫を行う。その一つの献立が、全国学校給食甲子園での2年連続入選となり、今年度は、代表12施設に選ばれ、決勝大会に出場した。食材の安全衛生管理について、それぞれ実施できた。				
	達成度	B	必要性	A	有効性
	評価理由		評価理由		評価理由
	「おいしく、安全、安心な給食」の提供する取り組みを行うことができた。		食品検査・産地表示などにより安全性を確認する。		献立の工夫について評価を得た。食材の検査結果、アレルゲン情報の提供を行った。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の主な意見から	<p>食材の産地確認をすべて実施し、安全確認を行っていることは喜ばしいことである。また、アレルギー除去食の提供など個別に配慮していることもありがたい。給食センター職員が各学校の教室で子どもたちと一緒に食する機会を設け、直接の声を聴く機会を多く持つてほしい。</p> <p>食の安全安心は食育教育の基本的な要素であり、食べる側が良しと思える献立の有り様を目指すとともに、子ども未来創造プロジェクトの指針を実践している。昨今の食品偽装、衛生管理の問題にも適切に処理できているのはありがたい。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>「おいしく、安全・安心な給食」の取り組みについて、特に食材料の安全確認、アレルギー除去食に対して評価をいただいた。今後もより良い給食を提供する取り組みを継続していく。学校での給食訪問に職員が参加し、子どもたちとの交流を図っていくなど、食育推進の取り組みを進めていきたい。</p>
	事業の総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯学習の充実 － 地域ぐるみの子どもの育成			所管課	生涯学習課	
事業の概要	子育ては家庭、学校、地域の連携が必要であり、地域で支えあい、育てあう活動を推進するとともに、子ども達にさまざまな学習機会の場を提供、また、子ども達の交流を促進し地域の連帯感を高める。					
目標・実績	青少年の規範意識や社会性の低下が社会現象となり、その要因として、親子のふれあいや信頼関係の希薄化、家庭や地域の教育機能の低下等があり、学校、家庭、地域が一体となり、地域ぐるみで子育てをする体制を構築することでこれらを解消し、子どもの自身の力を伸ばし、青少年の健全育成と地域の連帯、ふれあいを深めることを目的とする。H25年度には新規事業として、親子防災研修を実施した。					
教育委員会 自己評価 の	成果と課題 子ども活動支援事業や放課後子ども教室等の実施により、地域ボランティアによる子ども達の登下校の見守りや地域住民との交流活動を毎年活発に実施している。また、親子防災研修を開催することにより、親子がふれあいする場の提供ができた。しかし、地域における地縁的なつながりの希薄化による地域協力の低下は課題である。					
	達成度	B	必要性	B	有効性	B
	評価理由	H25年度において、保護者を対象とした、子ども被害防止事業について計画を実施予定であったが達成できなかった。		評価理由	地域教育力の向上・地域コミュニティの活性化は青少年健全育成に不可欠である。	
			評価理由	子ども活動支援事業や放課後子ども教室などの事業を行うことにより、地域で青少年健全育成に取り組むことができる。		

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員からの 主な意見	<p>学校での実習授業の補助や環境整備ボランティア等、子どもとの交流活動の場があり大変喜ばしい。今後も活性化させていただきたい。 地域で子どもとの関わりを探り、創ることは連帯感を深め、地域の発展にもつながることになる。「人を浴びることで人は成長する」人を浴びる良さを広め、適切な浴びる場の設定をお願いする。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>地域パートナーシップ事業(子ども支援活動・放課後子ども教室)の中で学校と連携をしながら、子どもたちが今後も地域の人とのふれあい及び地域活動への子どもたちの参加を促進するため、事業内容を考えていきたい。</p>
	事業の総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯学習の充実 － 子どもフェスタ			所管課	生涯学習課
事業の概要	あそび体験を通じて仲間づくりや参加者の交流を深めるとともに、豊かな感性を育み、未来を担う宇陀市の子ども達の健全育成を図る。				
目標・実績	市内の子どもたちが一堂に会し、「遊び」を通じて交流を図り、趣旨に賛同する団体・個人による実行委員会を組織し、企画立案から運営までボランティアを中心に開催し、約1600人の参加があった。				
教育自己評価委員会の	成果と課題				
	実行委員会において開催内容を検討し、「遊び」をテーマに子どもたちもスタッフともに楽しむを念頭に、参加者、スタッフともに楽しみ盛り上がりを見せた。また、雨天ににも関わらず約1600人の参加があり毎年子どもたちが楽しみにしている。				
	達成度	A	必要性	A	有効性
	評価理由	評価理由		評価理由	
	実行委員会が企画立案を行い、実行委員会主導のもと市民主導の事業達成を行うことができた。	市内の子どもたちが一堂に会する機会を設け一体感をもつ機会を提供する。		子どもたちに遊び体験・軽スポーツ体験を通じて、仲間づくりや地域の人たちとふれあうことにより、豊かな心を持てるように、青少年の健全な心を育む。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の主な意見から	<p>市民主導で様々な「遊び」を企画立案され参加者が増加していることや、ボランティアの方々が数多く活動されフェスタが盛り上がっていることは大変喜ばしい。特に高校生のボランティアが定着していることは、将来の社会を担っていくうえで好ましい姿である。</p> <p>スポーツやレクリエーションに親しみ、体験したり経験したりすることで健康づくりに、体力づくりに、仲間づくりに、そして何より自分自身を表出、表現できる居場所づくりに役立つものとなる。事業の更なる発展と企画をお願いする。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>市民主導型の実行委員会により強化を今後も行き、子どもたちの参加のみならずあらゆる世代が参加できる大会にする。また、内容についても新しいものを取り入れていく。</p>
	事業の総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯学習の充実 － 公民館活動の充実		所管課	中央公民館		
事業の概要	市民のニーズに合った講座の充実を図り、自主グループ・リーダーの養成とまちづくり・まちおこしなど地域社会参加の促進を図る。「定期講座」は各分館にて開催し、1年を通じて初歩から応用までを学習する。「ウェルネスシティ講座」、「市民教養講座」、「入門講座」、「生涯学習講座」については、各分館を会場とし各テーマを設けて、知識の向上、趣味の輪を広げ、健康の保持や生きがい作りを目指した講座を開設。					
目標・実績	社会教育法に基づき、市民のために実生活に即した教育・学術・文化に関する各種の事業を行い、もって市民の教養向上、健康の増進を図り生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。 参加者述べ人数2,733名					
教育委員会 自己評価 の	成果と課題 各講座・教室では、応募者が定員以上になり抽選を行うものもあるが、応募率が定員の半分のももある。また、定期講座によっては年7回から8回開催するが、回をおって受講率低下が顕著に表れる。市民ニーズに合った講座を開設するためアンケートによる調査等を実施し、市民が求める講座を把握する必要がある。また、周知についても広報紙や宇陀チャン以外にも「公民館だより」の発行を検討するなど、より多くの参加者を得ることや、幅広い年代の受講生を対象とするために時代に合った講座や開催時間についても考えなくてはならない。					
	達成度	B	必要性	B	有効性	A
	評価理由	幅広い年代層に興味がある講座内容、開催日時の検討が必要。また、参加者が少ない講座については様々な周知方法を行い、随時募集を行う事も検討する。	評価理由	社会教育法に基づく公民館活動を達成するため必要と考えるが、適切な講座数、募集人数並びに開催回数の見直しも必要と考える。	評価理由	講座及び学級等を開催することにより、市民の教養向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉等の促進を図る

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員からの 主な意見	知識の向上、趣味の拡大等魅力ある講座を開設され、参加者増につながるようお願いしたい。また、随時募集の講座にあっては、気軽に参加できるという点で好ましいと思われる。 「誰でも気軽に学べる講座や教室」このキャッチフレーズをいつまでも大切にして、参加者の教養向上や生きがいづくりを目指し、各講座のさらなる充実をお願いする。
	点検評価支援員による総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 多種多様化する市民のニーズを把握し、学習内容の充実を図りながら、開催場所・開催日・開催時間の環境整備を行い、参加しやすい環境整備を図る。また、各分館で「出前講座」として市民の関心あるテーマに関する講座を開設する。
	事業の総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯学習の充実 — 地域公民館活動支援事業		所管課	中央公民館		
事業の概要	「宇陀市地域公民館活動支援補助金交付要綱」に基づき、対象となる公民館活動を行った自治会に対して補助金を交付する。					
目標・実績	地域ぐるみで活発な生涯学習活動を目的とした地域公民館事業を支援することにより、より一層の充実と活性化を図る。 平成25年度補助金交付額実勢:2, 215千円					
教育委員会 自己評価 の	成果と課題					
	地域づくりと連帯意識の醸成を図るための事業を推進するため、活動を支える助成措置は、有効に活用されてきたと考える。ただ、地域による支援補助金の平等化の方向性と、市が推進している「まちづくり協議会」の趣旨により、地域での公民館活動事業もまちづくりの一環として大きくとらえて、支援補助金の見直しが必要である。					
	達成度	B	必要性	C	有効性	C
	評価理由	自治公民館50館及び地区公民館8館に対し、補助金を交付し、地域にあった公民館事業を展開した。	評価理由	地域の活性や問題解決のため、市は「まちづくり協議会」の設立を推進しており、まちづくり協議会補助金への移行は望ましいと考える。	評価理由	公民館事業もまちづくりの一環として大きくとらえ、地域の公民館事業への分配を受け事業展開は図れるものとする。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の 主要意見 から	<p>今までの支援事業の成果を評価したうえで、平成26年の市主要施策「住よい地域創造プロジェクト(市民との協働によるまちづくり)」に移行統合することも意義がある。各地域で活動が活発化するように企画していただきたい。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 2 】</p>
-------------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>地域公民館活動を支える助成措置は、有効に活用されてきたと考える。ただ、今後は地域による支援補助金の平等化の方向性と、市が強く推進している「まちづくり協議会設立」の趣旨により、地域での公民館活動事業もまちづくりの一環として大きくとらえて、支援補助金の見直し(宇陀市まちづくり活動応援補助金への移行)の検討が必要と考える。なお、教育委員会は今後とも、中央公民館・各4分館の活動を推進し、地域公民館活動団体との連携を図り、宇陀市並びに地域の生涯学習の振興を進めるため多方面から支援していく。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 4 】</p>
-------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯学習の充実 － 図書館運営の充実		所管課	中央図書館		
事業の概要	図書館システムを活用したウェブサービスの促進をめざし、図書資料の更なる活用を促すとともに、保健センター等との連携による生涯学習の基礎となる乳幼児期からの読書活動の啓蒙を行う。					
目標・実績	市民の“いつでも、どこでも、誰でも”自由に学べる環境づくりを目指し、アクセスポイントの利用率の向上や、周知を徹底する。また子育て支援の観点からブックスタートリストの作成配布に努める。 平成25年度実績 ・蔵書冊数125,135冊 利用人数40,052人 貸出冊数145,745冊 ・返却ポスト利用状況 返却冊数40,826冊 貸出冊数(公民館)70冊] ・ブックスタート用冊子『はじめての絵本』…1000部作成 ・「この本読んで」(H25, 12月までの新刊推薦絵本リスト)…750部作成					
教育自己評価委員会の	・中央図書館においてはバランスのとれた図書の収集に努め、郷土資料・行政資料の保存及び収集を行った。 また、大字陀図書館においては身近な地域の図書館として、児童図書の充実に努めた。 ・図書館講座『『古事記』・『日本書紀』を読む』を開催することにより、生涯学習意欲の向上を図れた。 ・図書館利用者、保健センター、幼稚園、学校等各年齢層に対応した、ロングセラー本リスト・新刊本リストの2種類を作成し、読書に対する意欲の向上に努めた。					
	達成度	B	必要性	A	有効性	A
	評価理由	人口の減少及び少子化により、大幅な利用者の増加は望めないが、きめ細やかな事業の積み重ねにより、利用者を拡大していく。	読書力を身に付けることは、教育の根幹に関わることであり、幼児期からの積み重ねを必要とする。そのための本のリストの配布及び周知の必要性は高い。	図書館事業を発展させていくためには、幼児期からの環境を整えることが必要であり、そのためには幼稚園、小学校と連携した読書活動の推進が有効である。		

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の評価員から	活字離れが進んでいる中、いろいろな催し物の活動はすばらしい。また、菟田野、室生地域でも図書の受け取り、返却が可能となり一層の利用が望まれる。さらに、子育て支援の一環として様々な活動はこれからも拡張していってほしい。 一生涯学習したり、読書をしたり、情報を得たりするためには、図書館の働きや機能に寄せる期待は大きい。そのための有意義かつ有効な図書館活用の攻めの開かれた姿勢や取り組みは評価できる。
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 宇陀市子ども読書活動推進計画を策定し、それを基盤に、教育現場やボランティア団体と連携した宇陀市の読書活動計画を実行する。また、メイプルパークにおける図書館機能を付加するなど、地域に即したきめ細やかなサービスの向上を目指す。
	事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 スポーツ・レクリエーションの充実 － 宇陀シティマラソン			所管課	生涯学習課	
事業の概要	宇陀の豊かな自然の中で、市民をはじめ参加者の健康の維持増進を目指し、互いの交流と親睦を図るとともに、市の活性化と青少年の健全な育成を目指す。					
目標・実績	市民主導型のイベントとして定着させ、マラソンを通して宇陀市を全国に発信していく。 1, 500人を超えるランナーと約400人のボランティアスタッフにより開催。					
教育委員会 自己評価 の	成果と課題 毎年、参加申し込み締切日までに定員に達するなど、市内外からの人気を得ている。今後は、おもてなしの方法や、また参加したいと思えるような目玉となるような企画を考える必要がある。また、距離をハーフにして実施して欲しいとの声はあるが、クリアしなければならない問題が多くあり、非常に困難な状況にあるのが現実である。					
	達成度	A	必要性	A	有効性	A
	評価理由	参加定員は1500名であるが、毎年1800人近い参加申し込みがあり、また、参加者をお迎えするボランティアスタッフも約400人と多数ご協力をいただき、市民協働型のイベントとなっている。	評価理由	本市開催のスポーツ行事としては最大のイベントとなっており、健幸都市ウェルネスシティ宇陀市構想の一役を担っている。	評価理由	市民参加型のイベントで、内容がマラソン、ジョギングという手軽さから、参加者の増加が見込まれる。市外からの参加者も多く宇陀市のPRにつながっている。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の 評価 員 から	<p>各地で市民参加型のマラソンが盛んになるのは、走ることへの魅力があるからであり、他府県からの参加者もあり、本大会は着実な成果を上げている。本事業を継続発展させるためにも、参加者にとって何より安全な開催行事であることを切望する。</p> <p>温泉施設とタイアップの足湯、「うだ元気汁」の振る舞い等、宇陀市をPRするには欠かせないイベントとなってきている。さらに充実した催しになるよう期待する。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>宇陀市の魅力を発信できるイベントであり、今後参加者への「おもてなし」の内容を再度見直し、今までよりもグレードアップできるよう実行委員会において検討する。</p>
	事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 スポーツ・レクリエーションの充実 － スポーツ事業の支援			所管課	生涯学習課	
事業の概要	広く市民にスポーツを行う機会を提供し、心身の健康、体力の増進と競技力の向上を目指すため活動している団体、個人を支援する。					
目標・実績	スポーツを通して市民の交流と心身の健全育成と生涯スポーツの振興を図るため次の事業を実施する。 全国大会出場補助 3競技 12名 市民スポーツ大会 20競技 約1,800名 県民体育大会出場 17競技 約180名 地域でのスポーツ事業 48回 体育協会及びスポーツ少年団に補助金支出					
教育自己 委員会 の 評価	成果と課題					
	地域住民を対象とした各種スポーツ事業を展開することは、ウェルネスシティ宇陀市を推進するにあたり効果がある。今後は、参加者が減少傾向にあるので、参加者を増やす事業を考えていかなければいけない。					
	達成度	B	必要性	A	有効性	A
	評価理由	参加者が減少傾向にある。	評価理由	参加者は毎年21～22の競技から自分にあつた競技種目を選択し、約1,300人を超える市民が参加している。ウェルネスシティ宇陀市を目指す指針にある健康の増進に効果がある。	評価理由	健康の保持増進、体力の向上、ストレス解消、余暇の充実といった精神的側面や集団適応、社会参加の促進等の育成につながる。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の 評価 意見 から	<p>地域の体育協会が弱体化してきており、諸々のスポーツ事業をいかに参加発展させ助成していくか、高齢者社会の到来にあわせて、いつまでも健康でありたい、健康を保持し少しは増進できれば、そんな願いに応えるべく更なる支援をお願いする。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の 方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>何か一つでも運動を生活に取り入れていくことによって、毎日の生活を充実させ規則正しい生活ができることで、健康の保持・増進、生きがいに結びつくことになる。体育協会及びスポーツ推進委員会などと連携を取りながら、日頃どのような運動をしていけばよいか検討し、住民に周知できる事業推進を図る。</p>
	事業の総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	<宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業> スポーツ・レクリエーションの充実 — 総合体育館・総合運動場運営事業		所管課	総合体育館																
事業の概要	市民のスポーツとレクリエーションの振興を図る共に健康増進を推進し、体育館・運動場の効率的な管理運営を行い、安全で快適な管理を図る。																			
目標・実績	体育施設の整備充実と健全な管理運営に努めると共に、利用促進を進める。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体育館利用者数</td> <td>48,389 人</td> <td>53,458 人</td> <td>110.5%</td> </tr> <tr> <td>グラウンド利用者数</td> <td>9,606 人</td> <td>6,858 人</td> <td>71.4%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>57,995 人</td> <td>60,316 人</td> <td>104.0%</td> </tr> </tbody> </table>					24年度	25年度	増減率	体育館利用者数	48,389 人	53,458 人	110.5%	グラウンド利用者数	9,606 人	6,858 人	71.4%	合計	57,995 人	60,316 人	104.0%
	24年度	25年度	増減率																	
体育館利用者数	48,389 人	53,458 人	110.5%																	
グラウンド利用者数	9,606 人	6,858 人	71.4%																	
合計	57,995 人	60,316 人	104.0%																	
教育委員会 自己評価 の	成果と課題 ・体育施設の整備充実と健全な管理運営に努めた。また、前年度より利用者が増加した。 ・トイレの設備改修を行った。(洋式化) ・光熱水費が高額となっている。																			
	達成度	B	必要性	B	有効性	B														
	評価理由	利用者数が増加した。	評価理由	大きな大会や集会を行う施設として利用度が高い。	評価理由	スポーツ振興と体力づくりの施設として、また、イベントや集会等の多目的利用として市民より評価が高い。														

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の 評価 員 から 見 ら	スポーツやレクリエーションでの体育館・運動場の利用者増は休日に集中し、管理運営面での負担が増加していると思われるが、今後益々、利用が増えるよう施設・設備の整備充実をお願いしたい。 今回のトイレ改修は、利用者にとって一番必要なものであり、利用者増につながるものと思われる。
	点検評価支援員による総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の 方針	<施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性> 今年度中に施設の長寿命化を視野に入れた大規模改修を行い、更に利用者が快適で安全な使用が出来るよう努める。また、市民のスポーツの振興や健康増進のために、広報誌やホームページに掲載し利用推進を図る。
	事業の総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 スポーツ・レクリエーションの充実 － 室内温水プール及びテニスコート管理運営事業			所管課	総合体育館
事業の概要	市民のスポーツとレクリエーションの振興を図ると共に健康増進を推進し、室内温水プール及びテニスコートの効率的な管理運営を行い、安全で快適な管理を図る。				
目標・実績	水泳やテニスをと通してスポーツ振興と健康の増進を図り、効率的な管理運営と利用者の増加を進める。				
		24年度	25年度	増減率	
	プール利用者数	31,499 人	42,710 人	135.6%	
	テニス利用者数	5,556 人	6,831 人	122.9%	
	合計	37,055 人	49,541 人	133.7%	
教育自己評価委員会の	成果と課題				
	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスコートの改修を行った。 ・機械設備の一部が老朽化しているので、年次的な改修が必要である。 ・小中学校の水泳授業としての使用が増加した。 				
	達成度	B	必要性	B	有効性
	評価理由	評価理由		評価理由	
	・小中学校の水泳授業としての使用が増加したことも一因ではあるが、プールの利用者が増加した。	・水泳を通して健康や体力作りに利用度が高い。 ・小中学校の体育の水泳授業に使用している。		幼児・小学校等の水泳技能向上や健康と体力作りに貢献している。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	<p>プールやテニスコートの利用者数が増え、水泳授業として利用度が高くなることはありがたいが、それに伴い特に水泳指導上の安全対策の必要性もさることながら、機械設備のメンテナンスが課題となる。年次的に設備等の改修・改善をお願いする。</p> <p>小中学校の水泳授業が環境の整った温水プールで行われていることは喜ばしいことである。今後季節にとらわれず利用の範囲を広げていくことで、年間を通した利用の幅も大きくなると思われる。</p>
	<p>点検評価支援員による総合評価 【 2 】</p> <p>総合評価は、利用率向上のための計画策定を望む見地からの抜本的見直しである。</p>

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>温水プールについて、設備機器の年次計画的改修を行い、水温や水質管理等の良好な維持管理及び安全管理に努め、利用者が快適で安全な環境提供に努める。</p> <p>小中学校の水泳授業としての利用については、一般の利用者との兼ね合いもあることから、早い段階で学校側とスケジュール等について協議し、双方が気持ちよく利用してもらえるよう努める。</p>
	事業の総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 スポーツ・レクリエーションの充実 － 小学校水泳教室事業		所管課	総合体育館
事業の概要	市内の小学校2、3年生を対象に、水泳を通して水泳やスポーツの楽しさを知り、生涯にわたりスポーツに親しむことを目的として、夏休み2日間にわたり水泳専門講師によって授業を行う。			
目標・実績	水泳技能を学び、水泳の楽しさや基礎体力や健康づくりの推進を図る。			
		24年度	25年度	生徒数増減率
	水泳教室生徒数	178人	168人	94.4%
教育委員会 自己評価 の	成果と課題			
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校生活で低学年に、水泳等のスポーツに親むことなどで多くの経験を積むことが学校生活を豊に過ごす。 ・全学校の参加者を班編成して振り分けることで、受講時間が少なくなる。 ・スクールバス搬送に移動時間が多くかかる所がある。 			
	達成度	B	必要性	B
	有効性	B		
	評価理由	評価理由	評価理由	
	対象生徒の約4割の子ども達が参加している。	夏休みにしか経験出来ない時期を利用して専門講師に学べる。	水に慣れることや水泳技能、基礎体力等が身に付く。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 員 の 主 な 意 見 か ら	<p>水に慣れ、水を怖がらないことから児童の皆泳を目指す取り組み、他校の児童との交流、また、専門講師による2日間の指導は大変有効である。日程を増やすなど、更なる参加者を増やし、ここから発展して水泳への興味を増し、子どもたちの体力づくりに寄与されることを望む。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>子ども達の水泳技能、基礎体力等が向上するために引き続いて事業推進し、参加率増加につながる計画を進める。</p>
	事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 スポーツ・レクリエーションの充実 － 水泳教室事業			所管課	総合体育館
事業の概要	水泳教室を専門業者に業務委託し、一年を通して専門講師から能力に合わせた技能を習得する。 ①水泳教室(幼児コース、児童・生徒コース、成人コース) ②水泳ウォーキング ③水中エアロビクス				
目標・実績	ジュニアにおいては水泳の基礎技能を学びスポーツの基礎体力を付ける。また、成人は水に親しみながら水泳の楽しさや健康増進を図る。				
		24年度	25年度	生徒数増減率	25年度収入
	水泳教室生徒数	398 人	442 人	111.1%	17,032,695 円
	ウォーキング生徒数	13 人	14 人	107.7%	613,300 円
	水中エアロビクス生徒数	12 人	12 人	100.0%	722,420 円
	合計	423 人	468 人	110.6%	18,368,415 円
教育自己評価委員会の	成果と課題				
	ジュニアオリンピック出場者や全国高校記録保持者を排出しスイミング選手を育てる役割を果たしている、また、成人は水に親しみながら水泳の楽しさや健康づくりに貢献した。				
	達成度	B	必要性	B	有効性
	評価理由	評価理由		評価理由	
	前年度に比べ水泳教室の生徒数が増加した。	市内で一年を通して気軽に子ども達等が水泳を学べる唯一の施設として受講生が多い。		技能に合わせてクラス選択でき、上級から選手コースまで気軽に学べ上達できる。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の主な意見から	<p>水泳選手を育てる役割を果たしていることは頼もしい限りである。専門講師から能力に合わせた指導を受けられるのは喜ばしい。</p> <p>本事業から数多くの逸材が輩出し、その成果が高いことに感謝するが、機会が許せば、例えばオリンピック選手を招へい交流し、泳ぐこと、泳いでいることに夢を持たせたい。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>子どもたちの選手育成から体力作りまで、また、成人の健康づくりの支援のために事業を推進し、より参加しやすい環境を進め、広報活動も併せて進める。</p>
	事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 スポーツ・レクリエーションの充実 － 宇陀市小学校対抗子ども駅伝大会			所管課	総合体育館
事業の概要	長距離走を通して子どもたちの体力向上と健全育成を図ると共に、スポーツ全般に必要な基礎体力や連帯感を養い、豊かな人間性をつくる。 ・「宇陀市駅伝チャレンジ大会」において、小学校5、6年生の7名1チームとして市内各小学校より集まりタイムを競う。 ・各小学校5・6年生に希望者を募り、駅伝練習を3ヵ月間行った後、「奈良県市町村駅伝対抗子ども駅伝大会」に参加する。				
目標・実績	駅伝の楽しさを知り、学校の枠を越えて子どもたちの仲間意識や人を思いやる心を育てる。 ・宇陀市駅伝チャレンジ大会 参加:6チーム(42人) ・奈良県市町村駅伝対校子ども大会 練習参加:28人 大会成績:10位(36チーム)				
教育自己評価委員会の	成果と課題				
	駅伝の楽しさを知り、基礎体力を高め、仲間の団結を生み、将来にわたるスポーツ振興を図った。				
	達成度	B	必要性	B	有効性
	評価理由		評価理由		評価理由
	大会成績が前年度より上がった。また、体力向上につながった。		学校間を超えた仲間作りができること。		駅伝の楽しさを知り、仲間との連携を学んだことが将来にわたるスポーツ振興と豊かな人間性につながる。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	<p>関係指導者の尽力、ご苦勞に低頭するが、馬見丘陵公園での駅伝大会は圧巻であり、選手として練習、参加したことにより、その後のスポーツにより親しむことにつながった児童もあり、何より団結力を培う上でもふさわしい事業であり、更なる充実をお願いする。</p> <p>体力づくりもさることながら、他校との子ども同士のつながりもでき、心の教育の一環も担うものと思われる。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>駅伝という競技を通じて、基礎体力や仲間との連帯感を養い、子ども達の健全育成の一環となるように事業の拡大に努める。</p>
	事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 － 文化財保存修理等補助事業	所管課	文化財課
-----	---	-----	------

事業の概要	国・県・市指定文化財(以下、「指定文化財」という。)の所有者(個人・宗教法人)が行う防災設備点検等経費の負担軽減、所有者が行う建造物等の保存修理工事経費の負担軽減、所有者が行う環境整備(草刈、庭木の剪定)経費の負担軽減、また市指定民俗文化財を維持伝承していくため、後継者育成の経費等の負担軽減を図るため、これらに関して補助金を交付する。
-------	--

目標・実績	指定文化財の保存修理、防災設備点検等、環境整備、民俗文化財伝承の実施に対して補助金の交付を行う。 (平成25年度 保存修理2件・防災設備点検等9件・環境整備2件・民俗文化財伝承事業4件)
-------	--

教育委員会 自己評価	成果と課題					
	指定文化財の保護・管理等の諸事業の実施により、適切な状態を保たれている。点検等により不具合が発見されれば修理を行っている。毎年の防災設備の点検等は消防法にも規定されており、機器等の良好な作動を保っている。今後も、引き続き指定文化財の適切な保護・管理を行っていくため、国、県、所有者と連携しながら継続していく。					
	達成度	B	必要性	A	有効性	A
	評価理由	評価理由	評価理由	評価理由	評価理由	評価理由
	所有者と共に指定文化財の適切な保護・管理等ができた。	指定文化財は、その重要性に鑑み、適切な管理を行うために様々な法的規制があり、指定文化財の保護・管理を適正かつ円滑に実施するには、特別な経費を要する。事業実施にあたり、所有者の負担軽減を図ることは、文化財の保護に貢献する。		指定文化財の適切な保護・管理が実施でき、貴重な文化財を後世に伝えていくことができる。		

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の 主な意見から	有形、無形の文化財、文化遺産の維持管理を適切に行うことは、現存している者の使命である。可能な限りの後世への伝承をお願いします。
	点検評価支援員による総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 文化財の保護・管理を適切に実施し、防災設備の設置・点検等も所有者に助言を行い、国・県・所有者と連携しながら文化財保護を継続する。また、文化財の保存修理等が完了すれば、市民へのPRも積極的に行うようにする。
	事業の総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 － 薬の館管理運営業務			所管課	文化財課
事業の概要	市民の歴史・文化意識の向上を図るとともに、伝統的建造物に対する理解を深めることを目的とし、内部公開を兼ねた展示施設「宇陀市歴史文化館、薬の館(市指定文化財)」の管理・運営を行うものである。 建物の公開・管理・運営等が主な業務で、シルバー人材センターに管理委託している。建物の修理等は文化財課が行っている。				
目標・実績	松山地区の代表的な商屋町家であり、薬関係の展示施設となっており来館者が多く訪れる。生涯学習の教材として小学校の授業にも活用されている。宇陀松山の歴史を学ぶ施設として、伝統的な空間を体感できる施設として、より一層、展示内容の充実と来館者数の増加に努めている。 薬の館(旧細川家住宅)は、江戸時代末期の建築と推定される。細川家は薬問屋であり、その後、薬商として「人参五臓園」「天寿丸」という腹薬を販売。館内には、薬関係の資料を中心に展示し、有料で公開(入館料大人300円小人150円(団体 大人200円小人100円))。平成25年度の入館者数は、2,383人。				
教育委員会 自己評価 の	成果と課題				
	月・火の休館日においても、視察団体等の予約が入れば、特別開館し来館者数の確保に取り組んでいる。 平成25年度の入館者は、平成24年度より来館者が約3割程度、減少した。 今後は、入館者数を増やす為のイベント等が必要であると感じている。				
	達成度	B	必要性	A	有効性
	評価理由	評価理由		評価理由	
	多くの方々が来館し、見学していただいたが、ここ数年入館者数が前年より、減少している。	当施設は、重要伝統的建造物群保存地区内にある伝統的建造物でもある。歴史を学ぶ施設、伝統的な空間を体感できる施設は少なく、公開する必要がある。		多くの方々が来館し、当館の歴史を学んだ。必要に応じて、館内を案内・説明を行い、理解を深めてもらっている。また、他市町村等からの視察や市行事での施設見学会も行っている。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	<p>平成4年に開設された『薬の館』は、松山の歴史を学んだり、旧細川家の造りから江戸時代の建築物の様子や藤沢薬品との関わりを知るうえで大変貴重な文化財であり、大切に維持管理をお願いする。 薬草園とのタイアップやPRを考え、来館者アップにつなげていただきたい。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
-----------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>薬の館への来訪者に、藤沢薬品(現アステラス製薬株)創業者が出身者であることのPRと共に、企画展の開催に取り組み、来館者の増加に繋げていきたい。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 － 重要伝統的建造物群保存地区保存事業	所管課	文化財課
-----	--	-----	------

事業の概要	周囲の環境と一体をなして歴史的な風致を形成している伝統的な建造物群を「伝統的建造物群保存地区」といい、国は特にその価値が高いとして宇陀松山地区を奈良県で2番目の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定した。・国選定は平成18年7月5日 ・指定面積17ha ・保存事業期間 平成18年度～歴史的町並みの特性を維持回復するため、地区内の伝統的建造物の修理・それ以外の建造物の修景に対して補助金の交付を行い、防災施設等の整備も行う事業である。
-------	--

目標・実績	歴史的風致を構成する要素である伝統的建造物の中でも「特定物件(所有者から保存同意を得た伝統的建造物)」を増やすことが必要不可欠であり、また、伝統的建造物以外の建物の修景も景観の保全には必要である。これらの修理・修景補助の件数を増やし、歴史的な街並みを保全する。また、伝建地区の安心・安全を図る防災計画の策定や景観を守るための建築基準法の緩和措置条例の制定を行う。 平成25年度の実績は特定物件の修理 6件、特定物件以外の修景 2件
-------	--

教育自己評価委員会の	成果と課題					
	特定物件は所有者の同意が必要であることから、町家の修理事業と同時に特定物件指定を受ける所有者が増えている。修理事業の相談時に所有者へ特定物件指定を働きかけることにより事業推進が図れた。今後も所有者等へ、事業内容・補助金内容を啓発する必要がある。 今後、防災計画の策定、緩和措置条例の制定に向け取り組む。					
	達成度	B	必要性	A	有効性	A
	評価理由	町家の修理・修景事業は予定通り完了できたが、後年度実施の相談物件が減少している。	評価理由	修理・修景が必要な物件の数は多く歴史的景観の保全には町家の回復は必要不可欠である。老朽化した町家は、修理により安全・安心な住居となり、生活環境の向上が図れている。	評価理由	街並みの景観がよいと来訪者にも好評で、メディアの取材や行政視察も相次ぎ、今後の集客にも期待ができる。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	保存事業により、松山夢街道(街並みライトアップ、華小路)も一段とあざやかさが増し、四季を通じて景観がアピールできることを高く評価したい。 来訪者が増えつつあり、引き続き積極的に取り組んでいただきたい。
点検評価支援員による総合評価 【 2 】	

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 町家修理事業には所有者の理解が重要であり、修理事業の問い合わせ等には積極的に提案等を行い事業を推進する。
事業の総合評価 【 2 】	

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 － 埋蔵文化財発掘調査事業			所管課	文化財課
事業の概要	市内遺跡の発掘調査、個人の開発行為に先立つ事前調査、遺跡保存のための確認調査、出土遺物の保存処理・過年度の調査成果整理等を実施し、埋蔵文化財の保護、記録を行う。				
目標・実績	遺跡の発掘調査を行い、保護対策を講じると共に記録を行い、後世に郷土の歴史を伝える。 榛原澤の下城・馬場遺跡の発掘調査を実施。整地土(第3層)から12世紀～13世紀後半の瓦器等、多くの遺物(土器類)が出土(整理箱10箱)し、出土遺物の洗浄・注記・復元・鉄製品の錆取り・記録写真撮影・脱酸素材の封入を行った。				
教育委員会 自己評価 の	成果と課題				
	発掘調査により貴重な遺物の保護や記録ができたが、市内には多くの遺跡が有り、沢山の文化財が埋もれているが、そのほとんどは未調査であり、今後も計画的な発掘調査が必要である。				
	達成度	B	必要性	A	有効性
	評価理由		評価理由		評価理由
	下城・馬場遺跡から多くの遺物が出土し、出土遺物の整理作業等を行い記録を残すことができた。		発掘調査により、郷土の歴史や生活環境を知る上で重要な史料となる。		埋蔵文化財(遺跡)の保存・整理は、郷土の歴史を後世に伝える重要な業務である。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の 主な意見から	<p>市内の文化財を知ることは、特に子どもたちには大変重要なことであり、埋蔵文化財の出土品収集、デジタル化しての記録等は大変な作業である。新しい発見と共に、後世に活かすためにも展示する場を検討したい。 また、小学校での出前授業は今後とも発展し続けてほしい。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>市内の埋蔵文化財調査は今後も継続して行い、発掘された貴重な遺物は市民へのPRとして展示等も行っていく。また、小学校から依頼があれば、積極的に出前授業に出向き子ども達に宇陀市の歴史を伝えていきたい。</p>
	事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 － 国重要文化財・片岡家文書調査事業			所管課	文化財課
事業の概要	国指定重要文化財の片岡家住宅に伝わる文書(史料)類は、「大宇陀町史」編纂時にその一部が調査され、室町時代・江戸時代以降の当該地域の歴史を考える上において重要な史料であることが判明した。片岡家に所蔵されている文書は約1万点を数え、これら文書の詳細な調査を行い、整理したうえで次代へ引き継げるようにする。				
目標・実績	片岡家に伝わる約1万点の文書(史料)を詳細調査し、全ての文書を写真撮影するなどの記録・整理を継続して行う。調査結果は、「片岡家文書調査報告書」として取りまとめ、宇陀市の1級資料とし定期的に一般公開を行い、宇陀市の活性化に資する事を目的とする。 当該文書調査の詳細調査については、文化庁、奈良県教育委員会事務局、片岡家文書調査指導委員会の指導を得て実施している。				
教育自己評価委員会の	成果と課題				
	片岡家に伝わる文書は1万点に及び中世から近世における宇陀地域の支配者の支配状況等の確認が可能となった。平成25年度は約5千5百点の調査・整理ができた。				
	達成度	B	必要性	A	有効性
	評価理由		評価理由		評価理由
	調査の整理・記録作業が順調に進み、平成26年度末には市民に向け中間報告が可能となった。		片岡家は、中世・室町時代から連綿と続く旧家であり、受け継がれてきた各種文書の調査により、宇陀地域の詳細な歴史を確認することができる。		文書により近世における地方自治の状況も明らかになると期待されている。また、国または県指定文化財の指定を受けることが可能である。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	<p>かやぶき屋根の保存も合わせ、片岡家所蔵の古文書を整理記録して後世に引き継ぐには相当の時間と作業が要る。事業の継続を可能な限り願います。 また、広く市民にその存在のPRをお願いする。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
-----------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>国指定重要文化財の片岡家住宅に所蔵されている古文書調査は今後も推進し、平成26年度末に市民への中間報告として展示を行い広く市民にPRを行う。また、平成27年度で調査は完了予定であることから、国又は県の指定重要文化財となるようはたらきかけていく。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 － 街なみ環境整備事業		所管課	文化財課		
事業の概要	松山地区の「大宇陀らしさ」や「松山らしさ」の再確認と新たな展開に向けて、「伝統的な街なみ」や「伝統的な暮らし」に着目するまちづくりを進め、総合的なまち活力の再生を図る。 平成13年度より32年度までの20年間で、歴史的な街なみの骨格となる道路を中心に、事業地区内(約35ha)の生活環境施設、公園、防災施設、修景補助等をの事業により、歴史的、生活的、自然的な環境を生かし、住民の発意と創意に基づく街なみの形成を目的とする。					
目標・実績	松山地区の地域の特性に応じた個性的で質の高いまちづくりを実施するための整備、道路と電柱の美装・街路灯整備・公園整備・生活環境施設整備・防火施設整備等の住環境の整備改善を行う。 (宇陀市大宇陀松山地区 整備区域面積 35ha) 平成25年度は旧伊勢みち通り道路美装化工事 工事延長L=227m を実施。					
教育委員会 自己評価 の	成果と課題					
	街なみ環境整備事業により、横断電線類の地中化、道路の美装化工事により、質の高い古い街並みを形成することができた。 近年松山地区の施設への来館者が減少しているが、今後松山地区の主要道路が美装化工事の対象となり、工事施工中来訪者に不便を掛けない方策も考慮しながら進めなければならない。					
	達成度	B	必要性	A	有効性	A
	評価理由	旧伊勢みち通りは狭隘な道路であるが、地元住民の協力により事業実施することができた。これにより黒門周辺の道路美装化工事が完了した。	評価理由	電線の地中化と道路の美装工事による、松山地区の個性的で質の高い街づくりには必要である。	評価理由	道路を中心に、地区内の環境整備が進み、歴史的な街並み環境を生かし、住民の発意と創意に基づく街なみを形成することができる。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の 主な意見 から	道路や溝、街路灯の整備により、街なみの景観評価がアップされ、各々の観光シンボルが随所に復活され、本事業に感謝する。
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 道路美装化・横断電線地中化を推進し、松山地区住民の要望も踏まえながら街なみ景観の向上を図る。
	事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 － 史跡宇陀松山城跡保存整備事業			所管課	文化財課
事業の概要	宇陀松山城は、豊臣政権のもとで、大和郡山城・高取城と並ぶ大和支配の拠点として誕生した。残念ながら城は、30年という短い期間でその役割を終えた。宇陀松山城跡の特徴として、城郭全域にわたって城割(しろわり)を受けていることがあげられる。現在、地表観察等で確認できる城跡の状況は、城割後の姿であり城郭構造を詳細には反映していない。 宇陀松山城跡の史跡指定地は67,667㎡であり、そのうち総石垣づくりの中心郭部分22,450㎡の公有化を実施している。整備範囲は公有化を行った範囲を中心に城跡への登山道部分を対象とする。				
目標・実績	宇陀松山城跡の特徴として城割を受けていることがあげられ、遺構内容・城割の状況と範囲・石垣等の崩落箇所の保全・修復等の関係を十分に検討しながら保存整備を進めている。 平成25年度は、天守郭石垣(一部)の保護整備工事及び南西虎口石段保護工事を実施した。 今後も不安定部分の保護・保全の方法、石垣の露出方法を十分検討し、平成28年度まで天守周辺部と本丸跡の整備を行う計画である。				
教育自己委員会 の 評価	成果と課題				
	宇陀松山城跡を宇陀市のシンボルとして位置づけ、重要伝統的建造物群保存地区に選定された松山地区である城下町と宇陀松山城跡を一体的に整備し、歴史資源として集客交流施策を行うほか、城跡までの登城路整備事業にも着手し、来訪者への利便性向上にも積極的に取り組んでいる。				
	達成度	B	必要性	A	有効性
	評価理由	評価理由	評価理由	評価理由	評価理由
	専門家からなる整備委員会により平成21年度に作成された整備計画に則り、年次的に整備に取り組んでいる。	宇陀松山城跡は宇陀市のシンボルであり、重要伝統的建造物群保存地区の松山地区と一体的に整備することにより、宇陀市の観光拠点となる。		城下町として栄えた松山重要伝統的建造物群保存地区と一体的に整備し、歴史資源による観光施策として多くの集客を図っていくことができる。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	<p>中世の山城から近世の城郭を知るうえで、貴重な城跡の整備は欠かせない事業である。この史跡が地域の文化財として活用され、市の施策にある「にぎわい作り創造プロジェクト事業」の充実を是非願います。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
-----------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>宇陀松山城跡の整備は年次計画的に整備を行っており、登城道整備が終われば本格的な城跡整備事業を推進し、来訪者の増加を図りたい。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保存と活用 － 文化活動の支援			所管課	生涯学習課	
事業の概要	市民の美術に対する関心を高め、芸能文化に親しみ、鑑賞する機会を提供するなど、宇陀市の文化創造と振興のため活動する文化協会を支援する。 宇陀市美術展覧会の開催					
目標・実績	市美術展覧会と幼児の作品展を同時開催を行うことにより、創作意欲の向上を促し市の美術文化の向上を図る。約300点の展示と約900人の来場者があった。					
教育自己評価委員会の	成果と課題					
	市民及び文化団体に文化活動の成果の発表する場として、また作品を鑑賞する機会を提供することができる。今後、小学生・中学生の作品の展示も考えて市民のあらゆる年齢層が文化活動に参加してもらえるよう考えなければならない。					
	達成度	B	必要性	A	有効性	A
	評価理由	幼児の作品展を同時開催すること、会場を市役所にするにより、来場者が増加した。	評価理由	文化芸術により、創造力を育み、その表現力を高め人々の心のつながり豊かな社会形成するために環境の整備が求められる。	評価理由	美術作品を鑑賞する機会を提供することにより、創作意欲の向上を促進すると共に美術作品への関心を高め心豊かな生活・魅力ある町づくりを推進する。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員から	<p>市内で活躍する方々の作品には目をみはるものがあり圧倒されるが、美術展覧会の開催日が限られているのが惜しい。長期の展示や常設展示ができる場（例えば閉校した校舎での展示が可能ならば）があると、市民の美術作品に親しむ機会が増えると思われる。</p> <p>幼児の作品展は、これからも継続していただきたい。それぞれの年代に応じて活動できる場所として美術展覧会は有効である。広く市民にPRをお願いしたい。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>出展者が中・高齢者の方が多く、若年層の参加を促していくことが今後の課題であり、広報等を通じて出店を促していく。また、ご意見のとおり長期展示ができるよう、開催場所の検討も今後の課題である。</p>
	事業の総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

5 まとめ

今後の課題と方向性

宇陀市教育委員会では、教育基本法を精神を体し関係諸法規に基づき、「人格の完成を目指し、平和で民主的な国家および社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成」に努めている。そのために学校教育をはじめ、就学前教育としての幼稚園教育・保育、文化スポーツの振興などの社会教育の推進、文化財保護等、幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進してきた。

国においては、平成25年6月に第2教育振興基本計画が閣議決定された。その中で、少子化・高齢化、グローバル化、地域社会・家族の変容、などの状況を踏まえ、成熟社会に適合し知識を基盤とした「自立」「協働」「創造」モデルとしての生涯学習社会の実現を目指し、「社会を生き抜く力の養成」「未来への飛躍を実現する人材の養成」「学びのセーフティネットの構築」「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」という4つの方向性が示されている。

宇陀市においても、教育こそが人々の多様な個性・能力を開花させ人生を豊にするとともに社会発展の基盤であると強く意識し、一人一人の個性を生かした教育を目指し、「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかな心身」「他者の尊厳の尊重」のバランスのとれた人間育成のために、創意工夫をこらし、主体的かつ積極的に施策の充実に取り組むものである。

また、教育基本法に規定されているように、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができその成果を適切に生かすことのできる社会の実現」を目指し、具体的な教育実践を推進してまいりますとともに、「いじめ」や「不登校」などの児童生徒の問題行動への対応や、規範意識の醸成、安心安全な学校づくりなどの様々な課題に主体的かつ積極的に取り組んでいく。

この度、教育委員会では権限に属する平成25年度の事務執行の自己点検評価を行い、その上で点検評価支援員の貴重なご意見を頂き、ここにその内容を報告書にまとめ、これを議会に提出するとともに公表するものである。

今後も、この事務点検および評価の上に、点検評価支援員のご意見を尊重するとともに教育委員会の責務を一層自覚し、教育の機会均等と教育水準の向上を図るため、教育に関する施策等を総合的に推進していく。